

令和 8 年 3 月 1 8 日

交 通 事 故 概 況

令和 8 年 2 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（2月末計上数（確定数））

1 令和8年2月末の交通事故発生状況

区分\内容	2月中		2月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	893	229	1,803	430
死者数（人）	6	-3	9	-16
傷者数（人）	1,062	284	2,147	556

[過去10年、2月末の推移]

区分\年別	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	過去平均		R8年
											10か年	5か年	
2月中死者数	12	4	10	4	10	8	8	3	3	9	7	6	6
2月末死者数	21	10	27	9	17	16	15	16	9	25	17	16	9
年間死者数	158	148	141	152	144	120	115	131	104	129	134	120	

都道府県別（2月中）

順位	1	2	4	5
都道府県名	神奈川	愛知	大阪	静岡
死者数	16	14	13	11

都道府県別（2月末）

順位	1	2	4	5	8	13
都道府県名	愛知	大阪	神奈川	茨城	兵庫	千葉
死者数	27	26	26	21	20	9

2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

(1) 2月中の死亡事故（死者6人）

- 事故類型別：人対車両が4人(66.7%)
- 道路別：市町村道が4人(66.7%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点が3人(50.0%)
- 発生時間別：8～10時が2人(33.3%)
- 第一当事者違反別：前方不注意が2人(33.3%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が4人(66.7%)

(2) 2月末の死亡事故（死者9人）

- 事故類型別：
 - ・人対車両が5人55.6%（うち歩行者妨害、前方不注意が各々2人40.0%）
- 道路別：
 - ・道道が4人44.4%（うち人対車両、出会い頭、車両単独、踏切事故が各々1人25.0%）
 - ・市町村道が4人44.4%（うち人対車両が3人75.0%）
- 地形・道路形状別：
 - ・市街地交差点が4人44.4%（うち人対車両が3人75.0%）
 - ・非市街地直線が2人22.2%（うち人対車両、踏切事故が各々1人50.0%）
- 発生時間別：
 - ・8～10時が2人22.2%（うち人対車両、出会い頭が各々1人50.0%）
 - ・18～20時が2人22.2%（うち人対車両が2人100.0%）
- 第一当事者年齢別：
 - ・50歳代運転者による死者が3人33.3%（うち人対車両、車両単独、踏切事故が各々1人33.3%）
 - ・若年運転者による死者が2人22.2%（うち人対車両、出会い頭が各々1人50.0%）
 - ・40歳代運転者による死者が2人22.2%（うち人対車両が2人100.0%）
- 第一当事者違反別：
 - ・前方不注意によるものが3人33.3%（人対車両が2人66.7%）
 - ・歩行者妨害が2人22.2%（うち人対車両が2人100.0%）
- 死者年齢別：
 - ・高齢者の死者が5人55.6%（うち人対車両が4人80.0%）
 - ・50歳代の死者が2人22.2%（うち車両単独、踏切事故が各々1人50.0%）
- シートベルト非着用者：
 - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者4人中、シートベルト非着用者は3人(75.0%)であり、その2人(66.7%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。

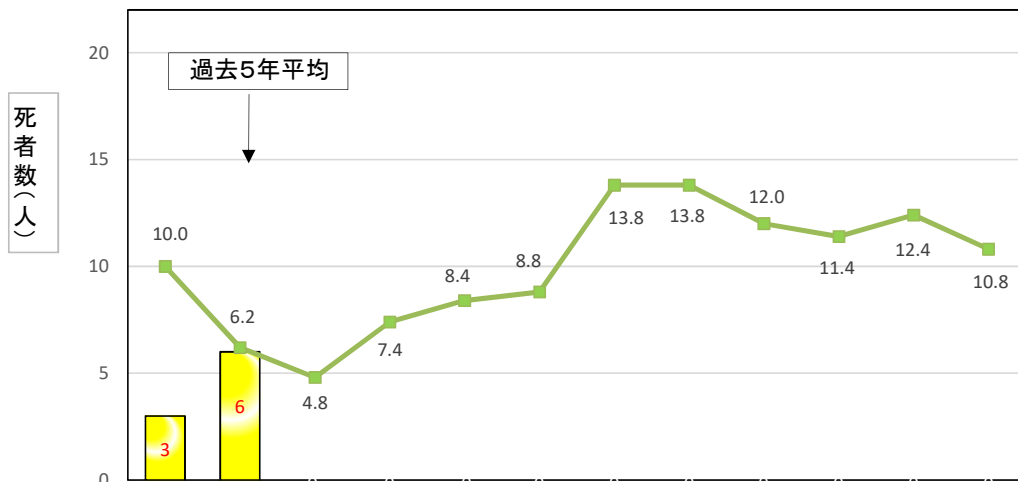
(3) 方面別発生状況

2月中の死者数は、札幌方面が3人(50.0%)、函館方面、旭川方面、釧路方面が各々1人(16.7%)となっている。
2月末の死者数は釧路方面が4人(44.4%)、札幌方面3人(33.3%)、函館方面、旭川方面が各々1人(11.1%)となっている。

方面別\区分	発生件数	死者数		傷者数		
		前年比	前年比	前年比	前年比	
全道	893	229	6	-3	1,062	284
1月末						
札幌方面	703	212	3	-2	843	275
函館方面	46	-8	1	1	60	-12
旭川方面	78	21	1		87	22
釧路方面	49	7	1	-1	54	1
北見方面	17	-3		-1	18	-2
2月末						
全道	1,803	430	9	-16	2,147	556
札幌方面	1,366	370	3	-9	1,638	484
函館方面	99	7	1	-1	127	13
旭川方面	194	55	1	-2	222	58
釧路方面	106	-9	4	-2	119	-6
北見方面	38	7		-2	41	7

(4) 月別発生状況の推移

2月中の死者数は6人で過去5年平均6.2人を下回っている。
2月末の死者数は9人で過去5年平均16.2人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和7年	3	6											9
年間累計	3	9											
過去5年平均	10.0	6.2	4.8	7.4	8.4	8.8	13.8	13.8	12.0	11.4	12.4	10.8	119.8
累計平均	10.0	16.2	21.0	28.4	36.8	45.6	59.4	73.2	85.2	96.6	109.0	119.8	

(5) 都道府県別死者数

2月中は神奈川県が16人で最も多く、次いで愛知県、大阪府が各々14人、静岡県が13人、茨城県、兵庫県が11人、北海道は6人で8位となっている。

2月末は愛知県が27人で最も多く、次いで大阪府と神奈川県が26人で茨城県が21人、兵庫県が20人、北海道は9人で13位となっている。

区分\都道府県	神奈川	愛知	大阪	静岡	茨城	兵庫	東京	千葉	埼玉	岩手	全国	北海道
2月中死者数	16	14	14	13	11	11	10	6	6	6	193	6
ワースト順位	1	2	2	4	5	5	7	8	8	8	-	8
前年比	1	6	5	9	5	2	0	-9	-2	5	4	-3
増減率(%)	6.7	75.0	55.6	225.0	83.3	22.2	0.0	-60.0	-25.0	500.0	2.1	-33.3

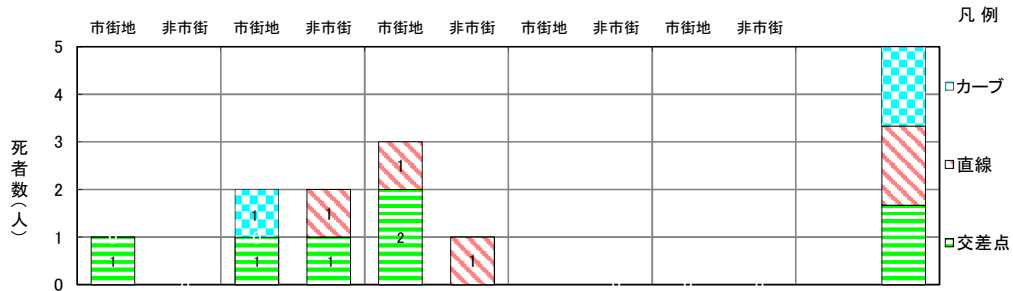
区分\都道府県	愛知	大阪	神奈川	茨城	兵庫	千葉	東京	静岡	福岡	埼玉	全国	北海道
2月末死者数	27	26	26	21	20	20	19	18	16	13	389	9
ワースト順位	1	2	2	4	5	5	7	8	9	10	-	13
前年比	12	8	-7	3	3	-5	-2	2	0	-4	-34	-16
増減率(%)	80.0	44.4	-21.2	16.7	17.6	-20.0	-9.5	12.5	0.0	-23.5	-8.0	-64.0

3 2月末の死亡事故の特徴

(1) 道路別

道道、市町村道が各々4人(44.4%)となっている。

- ・ 道道は、市街地交差点、市街地直線、非市街地交差点、非市街地直線が各々1人(25.0%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が2人(50.0%)

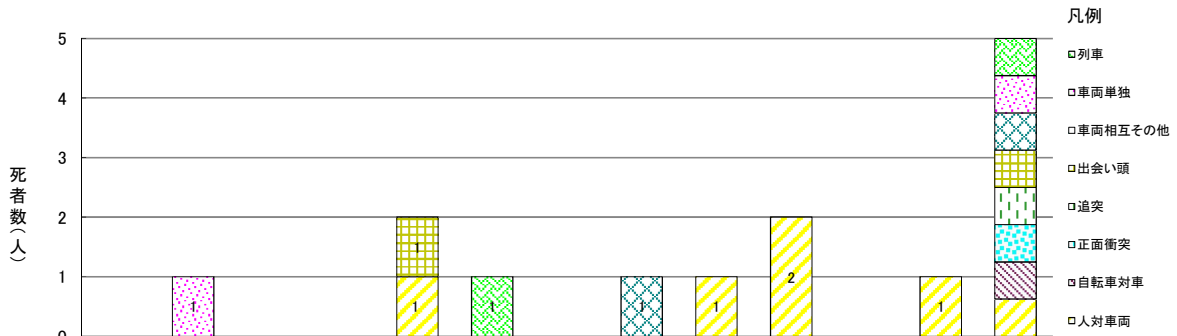


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	1	4	4			9
構成率(%)	11.1	44.4	44.4			100.0
過去5年構成率	29.7	32.4	28.4	5.4	4.1	100.0

(2) 時間別

8～10時、18～20時が各々2人(22.2%)となっている。

- ・ 8～10時は、人対車両、出会い頭が各々1人(50.0%)
- ・ 18～20時は、人対車両が2人(100.0%)

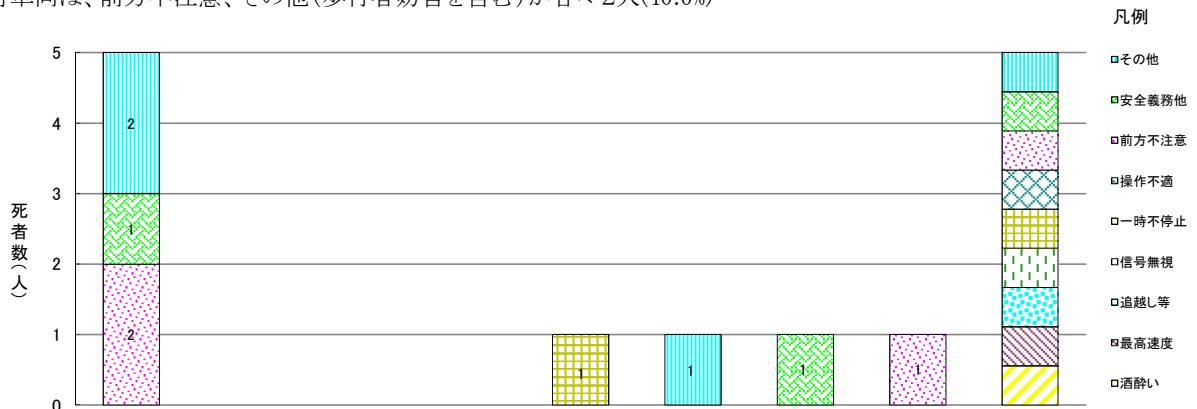


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数		1			2	1		1	1	2		1	9
構成率(%)		11.1			22.2	11.1		11.1	11.1	22.2		11.1	100.0
過去5年構成率	1.4	2.7	9.5	8.1	12.2	14.9	9.5	9.5	9.5	14.9	2.7	5.4	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が5人(55.6%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意、その他(歩行者妨害を含む)が各々2人(40.0%)



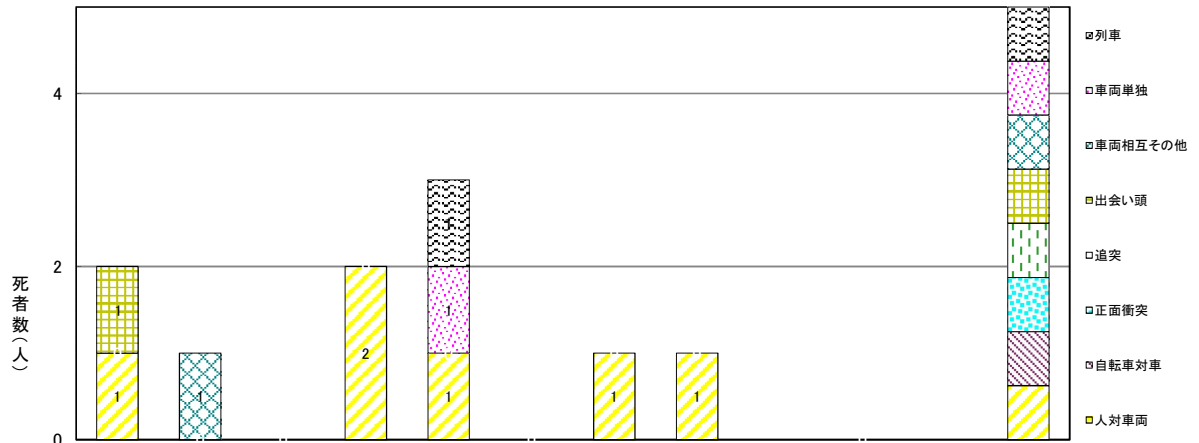
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	5				1	1	1	1	9
構成率(%)	55.6				11.1	11.1	11.1	11.1	100.0
過去5年構成率	31.1	2.7	24.3	2.7	13.5	4.1	18.9	2.7	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別:

50歳代の運転者が3人(33.3%)、若年運転者、40歳代運転者が各々2人(22.2%)となっている。

- ・50歳代運転者は、人対車両、車両単独、踏切事故が各々1人(33.3%)
- ・若年運転者は、人対車両、出会い頭が各々1人(50.0%)
- ・40歳代運転者は、人対車両が2人(100.0%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	2	1		2	3		1	1				9
構成率(%)	22.2	11.1		22.2	33.3		11.1	11.1				100.0
過去5年構成率	6.8	4.1	8.1	23.0	17.6	4.1	32.4	12.2	9.5	10.8	4.1	100.0

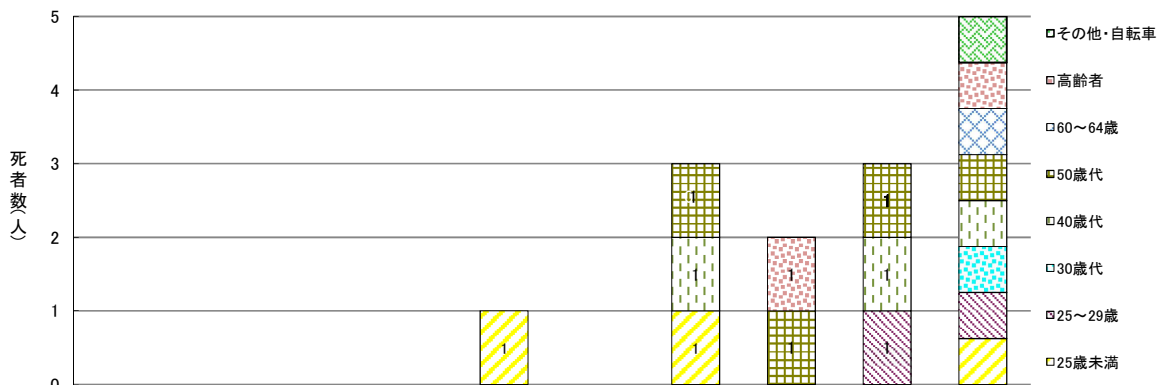
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反

前方不注意3人33.3%、その他(歩行者妨害を含む)が2人22.2%となっている。

- ・前方不注意は、若年運転者、40歳代運転者、50歳代運転者による死者が各々1人(33.3%)
- ・その他(歩行者妨害を含む)は、40歳代、50歳代運転手による死者が各々1人(50.0%)

凡例



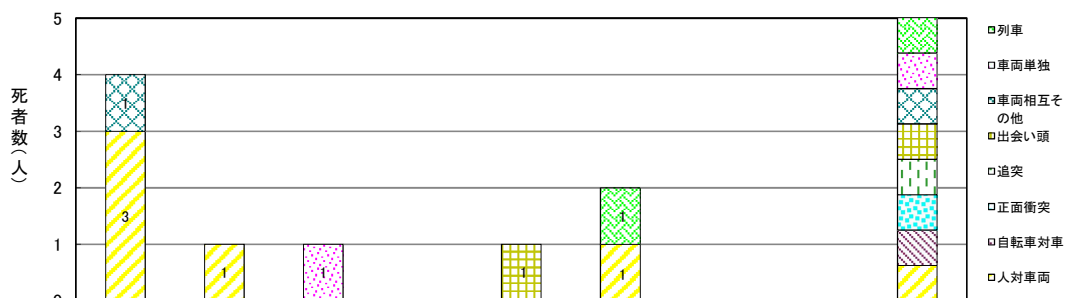
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数					1		3	2	3	9
構成率(%)					11.1		33.3	22.2	33.3	100.0
過去5年構成率		2.7		4.1	8.1	18.9	29.7	17.6	18.9	100.0

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が4人(44.4%)、非市街地直線が2人(22.2%)となっている。

- ・市街地交差点は、人対車両が3人(100.0%)
- ・非市街地直線は、人対車両、踏切事故が各々1人(50.0%)

凡例

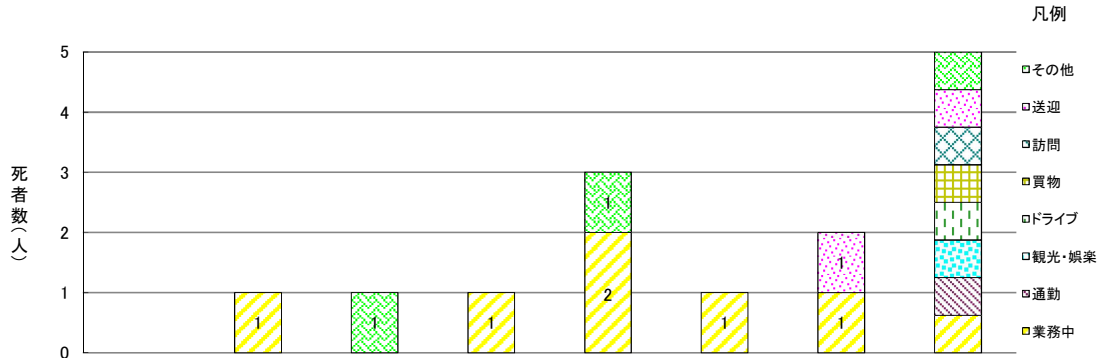


地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	4	1	1	6	1	2		3	9
構成率(%)	44.4	11.1	11.1	66.7	11.1	22.2		33.3	100.0
過去5年構成率	28.4	16.2	6.8	51.4	12.2	32.4	4.1	48.6	100.0

(7) 曜日別

木曜日が3人(33.3%)、土曜日が2人(22.2%)となっている。

- ・ 木曜日は、業務中が2人(66.7%)
- ・ 土曜日は、業務中、送迎が各々1人(50.0%)

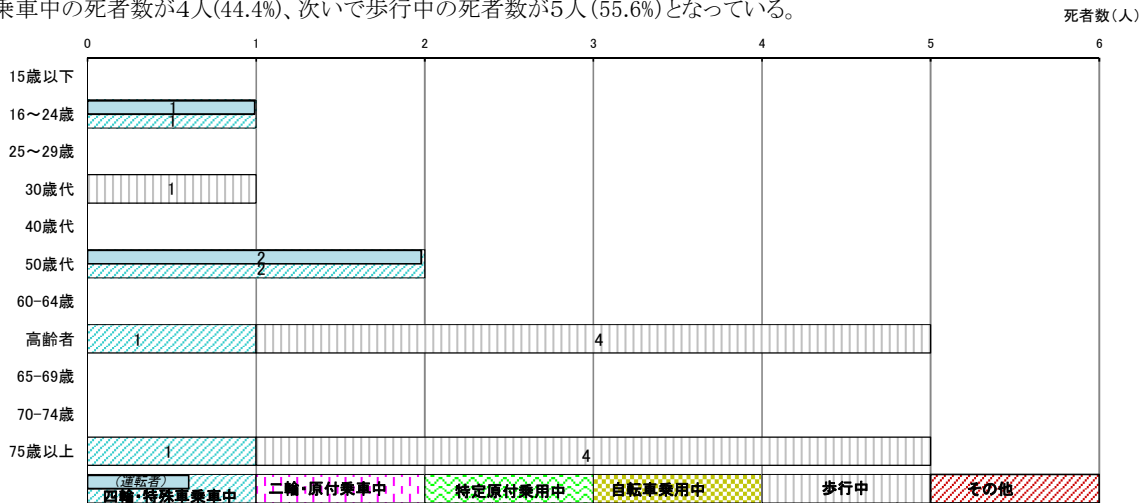


区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数		1	1	1	3	1	2	9
構成率(%)		11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	22.2	100.0
過去5年構成率	13.5	12.2	18.9	10.8	18.9	16.2	9.5	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者が5人(55.6%)、50歳代の死者が2人(22.2%)となっている。

四輪乗車中の死者数が4人(44.4%)、次いで歩行中の死者数が5人(55.6%)となっている。



状態別 年齢層別		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (一般原付を含む)	特定原付 乗車中	自転車 乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
									(%)	(%)
15歳以下	死者数									1.4
16~24歳	死者数	1						1	11.1	4.1
25~29歳	死者数									
30歳代	死者数					1		1	11.1	9.5
40歳代	死者数									14.9
50歳代	死者数		2					2	22.2	12.2
60~64歳	死者数									6.8
高齢者	死者数	1				4		5	55.6	51.4
65~69歳	死者数									8.1
70~74歳	死者数									9.5
75歳以上	死者数	1				4		5	55.6	33.8
計	死者数	4				5		9	100.0	
	構成率	44.4				55.6		100.0		
	過去5年構成率	60.8	2.7		2.7	32.4	1.4	100.0		

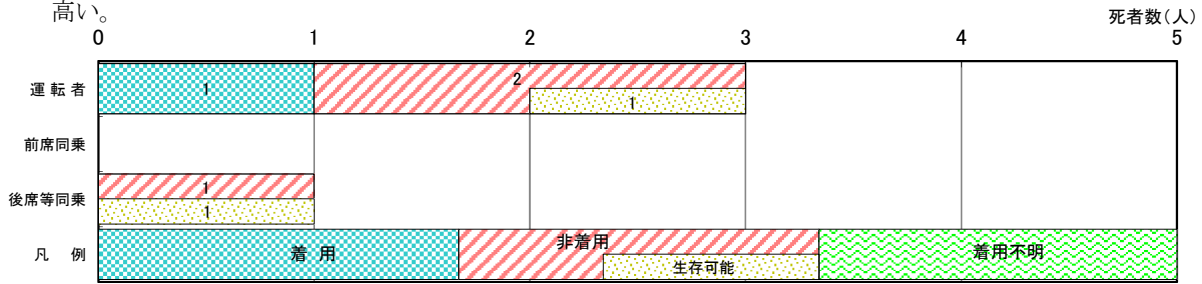
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者4人中、シートベルト非着用者は3人(75.0%)となっている。

非着用者の3人のうち2人(66.7%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪乗車中等	着用			計	非着用			着用不明
		計	運転者	同乗者 助手席 後部席		計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	
令和7年	4	1	1		3	2	1		1
構成率(%)	100.0	25.0	100.0		75.0	66.7	50.0		33.3

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、50歳代が2人(66.7%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルム着用	1											1
構成率(%)	100.0											100.0
ヘルム非着用					2		1			1		3
構成率(%)					66.7		33.3			33.3		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者3人の損傷加害部位をみると車外放出、ドア・窓、座席が各々1人(33.3%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
ヘルム着用			1										1
構成率(%)			100.0										100.0
ヘルム非着用	1					1			1				3
構成率(%)	33.3					33.3			33.3				100.0
運転者	1					1							2
構成率(%)	33.3					33.3							66.7
同乗者									1				1
構成率(%)									33.3				33.3

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和6年度及び7年度(ここでは令和6年11月～令和8年2月)の計上は次のとおり。

年度区分		死者数 (死者数 人)					
		11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度	死亡事故	13	13	3	6		35
	冬型事故	3	5	1			9
	スリップ	3	5	1			9
	視界不良						
	わだち						
令和6年度	死亡事故	6	13	16	9	7	51
	冬型事故	1	5	2	5	2	15
	スリップ	1	5	2	4	2	14
	視界不良						
	わだち					1	1